

「ひきこもり当事者を地域で支える ～今、地域でできること～」

現在、市町村におけるひきこもり支援を進めていく上で、関係機関、団体等が連携し、情報共有できる関係性の構築、すなわちプラットフォームの設置、運営が求められています。ひきこもり当事者、その家族を地域で支えるために、地域の社会資源とどのような連携を目指していけば良いのでしょうか。

研修会前半は、基調講演として、有限会社ライフ・アシスト代表 井山 信久氏、若年者等就労支援拠点サザン京都自立就労支援コーディネーターの西田 義彦氏をお招きし、それぞれのお立場で取り組んでおられる実践についてお話いただきます。後半では、両名をパネラーに座談会を行い、地域で支えることの意義、大切さについて考えていきたいと思います。

1. 日時・会場
- 【北部会場】 会場定員30名
令和3年12月1日（水）14時～16時
（舞鶴市） 西駅交流センター
3階 ホール
 - 【中部会場】 会場定員30名
令和4年1月21日（金）14時～16時
（亀岡市） ガレリアかめおか
2階 大広間
 - 【南部会場】 会場定員50名
令和4年1月26日（水）14時～16時
（京都市） キャンパスプラザ京都
4階 第3講義室

※各会場とも受付は13時30分～

2. 内容
- 【基調講演】
 - 「ひきこもり当事者を地域で支える
～プラットフォームの役割、福祉の視点～」
井山信久氏（有限会社ライフ・アシスト代表）
 - 「ひきこもり当事者を地域で支える
～アウトリーチ支援の必要性～」
西田義彦氏（社会福祉法人南山城学園 若年者等就労支援拠点
サザン京都自立就労支援コーディネーター）

【座談会】

「ひきこもり支援を地域で支える～今、地域でできること～」

*パネラー

- ・井山信久氏
- ・西田義彦氏

*コーディネーター 京都府脱ひきこもり支援センター

3. 対象
- ・市町村職員（ひきこもり支援、生活困窮、障害者支援、地域包括支援等担当職員）、令和2年度ひきこもり社会参加支援事業補助金交付団体、ひきこもり支援ネットワーク連絡会議加入民間団体

※お問い合わせは、京都府脱ひきこもり支援センター（京都府家庭支援総合センター内）まで 電話（075）531-5255（9時～16時）

令和3年度ひきこもり支援対応強化研修（実践編）参加について

別紙「参加者連絡表」に必要事項をご記入の上、Faxまたはメールでお送りください

【締切】北部:令和3年11月24日(水)、中部:令和4年1月14日(金)、
南部:令和4年1月19日(水)

●京都府脱ひきこもり支援センター（京都府家庭支援総合センター内）

お申し込み Fax (075) 531-9610

メール team-kizuna@pref.kyoto.lg.jp

講師プロフィール



井山 信久氏

大学を卒業後、身体障がい者支援事業所、知的障がい者入所施設、通所支援事業所の勤務を経て、2004年4月、ご夫婦で京田辺市に居宅支援及び短期入所事業所を立ち上げられました。「生活の困り感に寄り添うのが福祉の役割」、「福祉は地域の課題を解決する為のツールの一つ」をモットーに、現在、ショートステイ、生活介護・就労支援B型・就労移行支援、放課後デイ、児童発達支援の運営をはじめ、京田辺市や久御山町の障がい児生活支援センターや、大阪管区京都拘置所 篤志面接委員、地域のひきこもり相談をされる等、日々多方面で活躍中です。

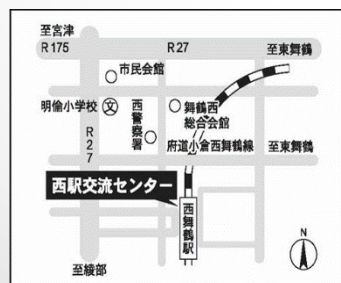


西田 義彦氏

大学卒業後、ソフトウェア開発会社でシステムエンジニアとして勤務。28歳の時、退職し家業継承（総菜販売・飲食店）、自営を廃業直後の平成25年に、ベンチャー企業の社員として就職困難者の就労支援に携わられました。平成28年から自立就労支援コーディネーターとして、京都府ひきこもり支援チーム「チーム絆」の一員となり、平成29年、サザン京都の開所に伴い、社会福祉法人南山城学園に移籍。現在は、八幡市のひきこもり相談、アウトリーチ支援等にも取り組んでおられます。

会場案内図

<北部会場>



<中部会場>



<南部会場>

